

科目名	コーチング実習E							年度	2026
英語科目名	Coaching Practical Training E							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 3年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	八重樫	教員の実務経験		有	実務経験の職種		サッカーコーチ		
【科目の目的】 小学生の年代に必要とされるサッカー指導法、各年代にあったコミュニケーションスキル、デモンストレーションスキル、プレゼンテーションスキル、外傷応急処置、タイムマネジメントなどを理解、習得する。また、前期で習得したスキルを発揮し更なる向上に努める。									
【科目の概要】 サッカースクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。									
【到達目標】 A. 担当教員または受入先担当者の意向に沿った指導法振る舞い、サポートに注意を払い行える B. ジュニア年代サッカー指導法を学び、吸収、獲得できる C. 年代にあったコミュニケーションを行い、スキル向上ができる D. デモンストレーションやプレゼンテーションを適切な時に行える E. 安全面を配慮した場の設定や休憩時間の設定、保護者対応が適切な時に行える									
【授業の注意点】 ・遅刻、欠席の際、担当教員へ電話連絡を入れその旨を伝える。 ・実習にふさわしい服装や個人用具を準備し授業に参加すること。 ・授業時間数の4分の3以上出席しない者は評価対象外となり単位認定を認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	担当教員または受入先担当者の意向に沿った指導法振る舞いサポートに注意を払い行える			担当教員または受入先担当者の意向に沿った指導法振る舞いサポートを行える				担当教員または受入先担当者の意向に沿った指導法振る舞いサポートを行えない	
到達目標 B	ジュニア年代サッカー指導法を学び、吸収、獲得できる			ジュニア年代サッカー指導法を学べる				ジュニア年代サッカー指導法を学べず、獲得できない	
到達目標 C	年代にあったコミュニケーションを行い、スキル向上ができる			年代にあったコミュニケーションを行える				年代にあったコミュニケーションを行えない	
到達目標 D	デモンストレーションやプレゼンテーションを適切な時に行える			デモンストレーションやプレゼンテーションを行える				デモンストレーションやプレゼンテーションが行えない	
到達目標 E	安全面を配慮した場の設定や休憩時間の設定保護者対応が適切な時に行える			安全面を配慮した場の設定や休憩時間の設定保護者対応が行える				安全面を配慮した場の設定や休憩時間の設定保護者対応が行えない	
【教科書】 特になし。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート。トレーニングメニュー作成、振り返りレポートにて評価する。成果発表。実技レベルの向上度にて評価する。平常点。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

